

近畿中国局フォレスターNEWS

民 国連携推進の担当者会議を開催（近畿中国森林管理局）

令和6年6月6日（木）～7日（金）、各署等の担当者が一堂に会し、市町村等民有林への支援を効果的に実施するために、各地域のニーズや、各署等で計画している技術支援メニューについて、情報交換を行いました。

会議では、市町村関係者からプレゼンの内容や用語が分かりにくいといった意見もあり、参加対象者の知識や関心に応じた工夫が必要との意見が出されました。

引き続き、工夫を重ねて、効果的な民有林支援となるよう取組を進めていきたいと考えています。

奈 良県フォレスターとの意見交換会

奈良県では、県のフォレスターアカデミーにおいて2年間の専門教育を受けた職員を「奈良県フォレスター」と位置付け、県内の市町村へ長期派遣する取組が行われています。

奈良森林管理事務所は令和6年6月20日（木）、川上村に派遣されている奈良県フォレスターの森川氏を訪ね、国有林における技術支援メニューなどの説明を行いました。

森川氏からは、シカによる下層植生の食害が多いことや、混交林誘導に向けて体系化されたものがないことから、国有林での針広混交林への誘導事例、列状間伐後の植生回復データがあれば提供してほしいと要望を受け、関係資料を提供しました。

令和6年度 森林管理署等の現地検討会開催予定

時期	テーマ	開催主体
6/12	再造林の省略化に向けた令和4年度設定した低密度植栽試験地の現況について	広島北部署
10月	カラーポール及びカラーネットを活用した「防護柵」について(ドローンを活用した新たな見回り方法の構築)	和歌山署
10月	大型排水管を活用した残渣処理	兵庫署
10月	海岸林における松くい虫被害対策と駆除跡地の検討について	石川署
10月	下刈り実施箇所と未実施箇所との苗木成長の比較・検討	福井署
10月	シカの捕獲（小林式誘引捕獲法）、列状間伐	滋賀署
10月	低コスト素材生産（日報を活用した生産性向上の取組）	島根署
10月以降	伐採と造林の一貫作業システム、植栽（コンテナ苗）、獣害対策等	広島署
11/7・8	獣害対策と低コスト造林（低コスト防護柵、ドローンによる防護柵点検、小林式誘引捕獲法、大苗植栽試験地の現地見学）	局 岡山署 森林総研
11月	低コスト省力造林の取組（ヒノキ低密度植栽）	三重署
11月	湿潤指標、危険指標及び作業道被災原因に係る観察方法の習得	京都大阪所
11月	治山事業における遠隔臨場（スターリンク）の先進的事例	奈良所
11月	低コスト造林とシカ対策の取組（エリートツリー、コンテナ苗、積雪地帯における防護柵、アニマルネット、小林式誘引捕獲法）	鳥取署
11月	シカの捕獲（小林式誘引捕獲法）	山口所
1月	治山事業における遠隔臨場（スターリンク）の先進的事例	奈良所

詳細情報や資料は、近畿中国森林管理局ホームページで御覧いただけます→

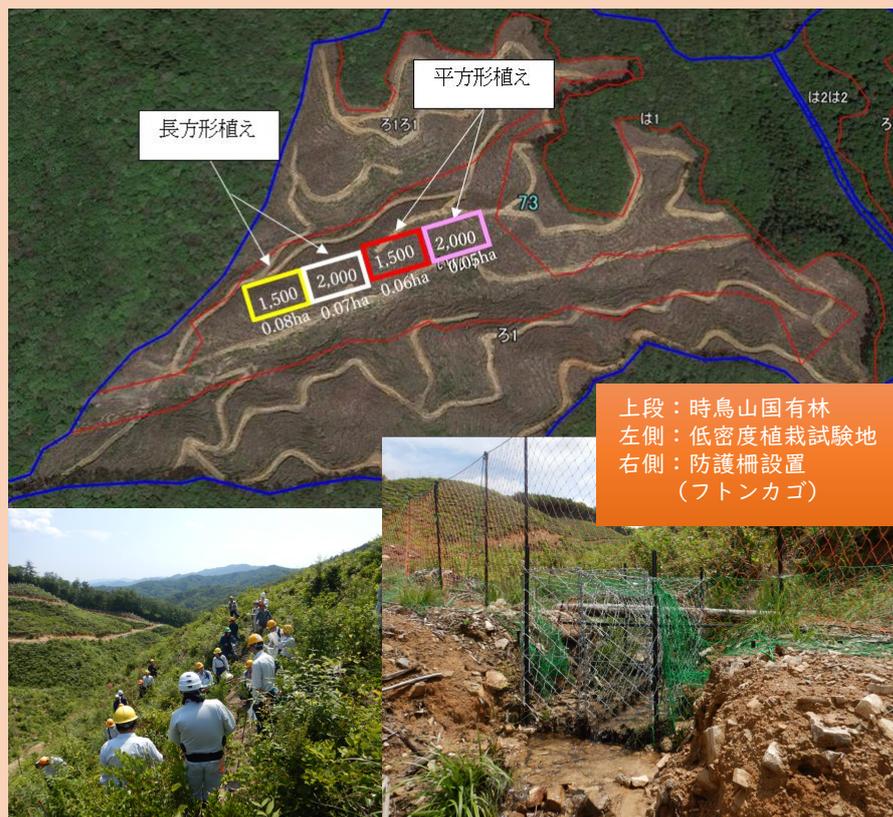


低密度植栽試験地における現地検討会を開催（広島北部森林管理署）

広島北部森林管理署は令和6年6月12日（水）、広島県安芸高田市の時鳥山（ほとどぎすやま）国有林で実施している低密度植栽の試験地において現地検討会を開催しました。当日は、広島県、安芸高田市、森林組合、林業事業体、森林管理局・署から計36名の参加がありました。

現地では、令和4年度植栽した1,500本/haと2,000本/haの試験地を視察しました。広島北部署から、①植栽から1年半経過したヒノキコンテナ苗（3年生）の成長状況は、現時点で植栽密度による差は見られない、②植栽は長方形植え、正方形植えの2種類を試しており、今後の下刈時に工程調査を行って有効性を検証することとしているとの説明がありました。

参加者からは、低密度植栽箇所において、植栽木及び周囲の下層植生が、これからどう繁茂するのか、その後の除伐作業にどう影響するのかを今後10年間のモニタリングを通して明らかにしてほしいとの意見が出されました。



上段：時鳥山国有林
左側：低密度植栽試験地
右側：防護柵設置
（フトンカゴ）

その後、フトンカゴを利用した沢での防護柵設置の紹介や、防護柵点検に活用できるドローンのデモ飛行が行われ、参加者から、フトンカゴの規格、ドローンの操作・点検方法などについての質問が出されました。

当日は梅雨前の猛暑で、かつ皆伐跡地で日陰がないこともあり、タオルで額の汗を拭きながらの視察となりました。

広島北部署では引き続き、低密度植栽の実証を進め、その成果を現地検討会等を通じて関係者との共有を図っていくこととしています。

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524

Email:kc_fukyu@maff.go.jp

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

今年度から森林環境税の徴収がスタートしたことから、市町村等の自治体に交付されている森林環境譲与税の用途や森林・林業への関心が高まると考えられます。国有林における現地検討会や市町村との意見交換会などを通じて、税の主な活用主体である市町村の森林・林業行政への技術支援に、国有林として役割を果たしていきたいと思っています。